

2026年1月より内視鏡専門医 外来・手術 始まります！

脊椎内視鏡手術は体に対する負担が少ない（低侵襲）な手術方法です。早期社会復帰を望まれる場合や、高齢社会において手術や麻酔に伴う体への負担を減らしたい方にとって、特に有用な手術方法となっています。また術後の細菌感染のリスクが少ないので特徴です。低侵襲の手術は医師の診断、治療方針により決定いたします。まずは受診にてご相談ください。

【低侵襲手術のメリット】

- ・小さな傷口で済む。
- ・術後の痛みが少ない。
- ・回復が早い。
- ・入院期間が短い（術後3～4日）

【執刀医】

博豊会脊椎病院 脳神経外科科長 横須賀 純一

日本脊髄外科学会 脊髄内視鏡下手術技術認定医

【主な手術】

内視鏡下椎間板摘出術（MED）

内視鏡下椎弓切除術（MEL）

内視鏡下後方椎体間固定術（ME-PLIF、ME-TLIF）

ME-PLIF（内視鏡下後方椎体間固定術）：内視鏡を使い、両側から椎間板を取り除きケージを挿入して固定します。

ME-TLIF（内視鏡下経椎間孔腰椎椎体間固定術）：内視鏡を使い、片側の椎間孔からケージを挿入して固定します。



2025年11月吉日

医療法人社団博豊会

理事長 森 俊一

八王子脊椎外科クリニック 院長 服部 敏